



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月6日

上場会社名 スガイ化学工業株式会社  
 コード番号 4120 URL <http://www.sugai-chem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武田 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 田中 淳二

TEL 073-422-1171

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,393	17.6	65		72		85	
29年3月期第3四半期	2,885	16.6	142		143		154	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	6.23	
29年3月期第3四半期	11.25	

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	9,598		5,607		58.4	
29年3月期	9,536		5,150		54.0	

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 5,607百万円 29年3月期 5,150百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,350	6.5	60		55		50		3.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	13,730,000 株	29年3月期	13,730,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	32,728 株	29年3月期	32,595 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	13,697,353 株	29年3月期3Q	13,697,584 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) .....	6
3. 補足情報 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用環境の改善により引き続き緩やかな回復基調が続いているものの、トランプ大統領の政策運営、中国経済の下振れリスク及び北朝鮮の地政学リスクの拡大など先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中で、国内売上高は、3,011百万円と前年同期（2,420百万円）に比べ591百万円（24.4%）の増収となりました。これは、医薬中間物は大幅に減少しましたが、農薬中間物及び機能性中間物が大幅に増加したためです。

一方、輸出売上高は、381百万円と前年同期（465百万円）に比べ83百万円（18.0%）の減収となりました。これは、農薬中間物及び機能性中間物は横ばいとなりましたが、医薬中間物が大幅に減少したためです。

この結果、総売上高は3,393百万円となり、前年同期（2,885百万円）に比べ507百万円（17.6%）の増収となりました。また、輸出比率は11.2%（前年同期16.1%）となりました。

利益につきましては、工場稼働率の復調による製造原価率の改善、固定費の削減等により、営業利益は65百万円（前年同期 営業損失142百万円）となりました。営業外損益では為替差益7百万円を計上したこともあり、経常利益は72百万円（前年同期 経常損失143百万円）、特別利益で受取保険金49百万円を、特別損失で支払補償金20百万円等を計上し、四半期純利益は85百万円（前年同期 四半期純損失154百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ61百万円増加の9,598百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が675百万円減少しましたが、投資有価証券が時価の変動により523百万円、原材料及び貯蔵品が136百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ395百万円減少の3,990百万円となりました。これは主に、借入金が465百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末に比べ456百万円増加の5,607百万円となり、自己資本比率は58.4%（前事業年度末54.0%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年11月7日の決算発表時における業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	406,099	443,803
受取手形及び売掛金	2,130,931	1,454,973
商品及び製品	1,840,973	1,887,059
仕掛品	98,108	45,235
原材料及び貯蔵品	185,341	322,033
その他	13,894	35,907
貸倒引当金	△6,404	△4,399
流動資産合計	4,668,944	4,184,613
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	686,627	676,593
機械及び装置(純額)	845,738	926,314
土地	1,328,624	1,328,624
その他(純額)	612,449	575,417
有形固定資産合計	3,473,438	3,506,950
無形固定資産	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	1,302,453	1,825,797
関係会社株式	3,819	3,819
その他	96,200	85,351
貸倒引当金	△14,192	△14,179
投資その他の資産合計	1,388,281	1,900,788
固定資産合計	4,867,538	5,413,556
資産合計	9,536,482	9,598,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	533,804	636,504
短期借入金	1,250,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	461,860	377,520
未払法人税等	35,355	8,616
賞与引当金	54,834	18,444
その他	519,383	453,339
流動負債合計	2,855,238	2,644,425
固定負債		
長期借入金	720,960	440,120
退職給付引当金	397,752	402,617
その他	411,953	503,503
固定負債合計	1,530,665	1,346,240
負債合計	4,385,904	3,990,666

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	146,265	231,656
自己株式	△5,148	△5,169
株主資本合計	4,667,659	4,753,030
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	482,919	857,196
繰延ヘッジ損益	—	△2,722
評価・換算差額等合計	482,919	854,473
純資産合計	5,150,578	5,607,504
負債純資産合計	9,536,482	9,598,170

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,885,419	3,393,066
売上原価	2,441,660	2,789,624
売上総利益	443,758	603,442
販売費及び一般管理費		
発送運賃	14,229	14,596
従業員給料及び手当	261,433	235,713
賞与引当金繰入額	6,389	6,461
退職給付費用	12,397	13,292
その他	291,847	267,382
販売費及び一般管理費合計	586,297	537,447
営業利益又は営業損失(△)	△142,539	65,994
営業外収益		
受取利息	112	174
受取配当金	24,471	24,724
為替差益	5,090	7,594
その他	4,198	4,838
営業外収益合計	33,873	37,331
営業外費用		
支払利息	15,189	9,626
休止固定資産維持費用	13,277	14,197
その他	6,708	6,971
営業外費用合計	35,175	30,795
経常利益又は経常損失(△)	△143,840	72,530
特別利益		
受取保険金	—	49,029
特別利益合計	—	49,029
特別損失		
固定資産除却損	5,085	10,597
支払補償金	—	20,500
特別損失合計	5,085	31,097
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△148,926	90,462
法人税、住民税及び事業税	5,547	5,440
法人税等調整額	△391	△369
法人税等合計	5,156	5,071
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△154,082	85,391

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

従来、当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物を除く）を採用していましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更しています。

当社は、当事業年度を初年度とする新中期経営計画を策定し、大口取引先に依存したビジネスモデルから脱却し、多品種の製品を取り扱うべく生産設備のマルチプラント化を進めることで、工場の安定稼働に努める設備投資へシフトすることを経営方針としています。この新中期経営計画の策定を契機として、生産設備の使用実態を見直した結果、今後は安定的な生産設備の稼働が見込まれることから、減価償却方法を定額法に変更することにより、その使用実態をより適切に反映した費用配分が可能になると判断したことによるものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の減価償却費が63,999千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ40,452千円増加しております。

3. 補足情報

（生産及び販売の状況）

当社は、単一セグメントであるため、製品の種類別ごとの生産及び販売の状況を記載しております。

① 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第3四半期累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）		当第3四半期累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
医薬中間物	722,346	22.4	637,299	17.7
農薬中間物	1,515,860	47.0	2,038,833	56.4
機能性中間物	692,271	21.4	614,966	17.0
界面活性剤	226,969	7.0	261,342	7.2
その他	71,470	2.2	61,230	1.7
合 計	3,228,919	100.0	3,613,672	100.0

② 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第3四半期累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）		当第3四半期累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
医薬中間物	614,213	21.3	267,743	7.9
農薬中間物	1,399,689	48.5	1,955,728	57.6
機能性中間物	502,452	17.4	763,244	22.5
界面活性剤	262,456	9.1	272,923	8.1
その他	106,606	3.7	133,426	3.9
合 計	2,885,419	100.0	3,393,066	100.0